

Info&Report 編 滑川ふるさと・ジオパーク研修会



6月16日(金)、「滑川ふるさと・ジオパーク研修会」を行いました。

ベテランの方はご存じと思いますが、この会は、かつて「現地研修会」とよばれ、夏休み中のまるまる1日、市内各所をバスで巡るものでした。(何より”暑かった”ことを思い出します。)

平成26年8月に「立山黒部ジオパーク」が「日本ジオパーク」に認定されたことで、それまでの歴史や史跡が中心だったものに地学的な内容を加えて、6月に半日開催としています。



当日はまず座学として、3人の講師の方から、早月川扇状地のことや、縄文から近代にかけての文化財・史跡について、そして、副読本の活用の仕方と、それぞれの専門分野でお話しいただきました。



その後、バスに乗り、まず青雲閣までバスで上がり、高台からの眺めを味わいました。その後、椎名道三公園、博物館、五厘堤、横道配水池、早月川河口、一里塚、橋場の波消しブロックと堤防、上市川河口等をところどころ下車して、解説を聞きながら巡り帰ってきました。



本市の指導計画を見ても、小学校2年生の町探検をはじめとして、現在、どの学校のほとんどの学年のカリキュラムに「ふるさと滑川」に関わる学習があります。

今回巡った場所以外にも、富山方面から滑川に向かう途中、高台に見える東加積小学校の姿、米騒動発祥の地、長く続いている俳句文化などなど、滑川市の特色ある場所・物・人はまだまだたくさんあります。

それらは市で作成している副読本に多く載せていますし、博物館にもたくさんの資料が収蔵されています。生活科や総合的な学習の時間、科学の時間、歴史、国語、理科等の様々な時間にご活用ください。そして、できれば実際に児童生徒と現地に行き、ふるさと滑川の良さを体感していただきたいと思ひます。

<研修会後のアンケートより>



感想

滑川市出身ではなかったため、地域のことを知る良い機会になった。
滑川の地形にあまり知らなかったが、知ることができ、貴重な体験となった。 この研修を活かして、理科教員として、この知識を生徒に還元できるように努力していきたいと思いました。 大変お忙しい中、研修を企画していただきまして、ありがとうございました。
滑川市には沢山の歴史的なものがあることが分かりました。そして早月川はとても珍しい川と知り、誇りだと思いました。
私は結婚して滑川市民になりましたが、滑川市が扇状地で出来ていることや、椎名道三という方のおかげで用水がひかれたことなど、初めて知ることが多く勉強になりました。ありがとうございました。
自分は滑川市出身ではないので、知らない場所や知らないことがたくさんあってとても勉強になりました。 個人的には早月川が急流河川であり河口でも音が聞こえることに驚きました。また滑川の良さを知り子供達に還元できたらと思います。
滑川市の特徴や魅力を知れてとても良かったです。
滑川市の地形や河川の特徴を知ることができた。言葉でしか聞いた事のない河岸段丘についても実際にバスの車内から段差上に土地が上がっていく風景が見られてよかった。
自分が知らなかった、滑川にある面白く大変素敵なところをたくさん知ることができて良かったです。大変面白い内容で勉強になりました。
滑川市の名前の由来が分かって楽しかったです。
滑川市の様々な場所を巡ることができて、滑川市のことを知ることができました。 今回のことを実践で活かしていきたいと思います。
滑川市の良さや地理的な事柄について学ぶことができました。この研修での学びを今後の授業に生かしていきたいです。